

※ 今週のアウトルック(9/9~9/13)

先週末に発表された米国雇用統計は、非農業部門雇用者数が予想より悪い結果となりました。

一時的には上昇する場面もありましたが、NY市場ではサポートライン付近まで円高が進む状況もありました。

今週は、米国雇用統計発表後の流れを東京市場がどう受け止めるかが、まずはポイントとなりそうです。

先週のドル円は、米国雇用統計の予想を下回る結果を受けて、142円台前半でNY市場を終了しました。

今週は、141円付近のサポートラインを割ってしまうかどうかで、その後の展開が大きく変わりそうです。

割ってしまう可能性は五分五分と考えています。

ドル円の予想レンジは140円から145円です。

ユーロドルの上昇も一服して、ユーロ円もテクニカル的には下落トレンド入りを示唆するような状況となっています。

今週は、154円付近のサポートラインを割り込んでしまうと、151円付近まで下落してもおかしくない状況となっています。

ユーロ円の予想レンジは151円から164円です。

ポンド円も下降トレンド入りする可能性が高まっています。状況次第では、180円付近まで下落する可能性もあるように思います。

ポンド円の予想レンジは180円から194円です。

米国雇用統計の結果を市場がどの程度織り込んでいたのか。まずは東京市場の動きを注目したいところです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。